

いて、2019年4月の地域別景気判断において東北、北陸、九州・沖縄の3地区のみ景気が下向きで、要因に関する加工業を中心对中国経済の影響を受けた結果となっていますが、3月短観（大分支店）をみると電気機械、輸送用機械とともに12月↓3月の変化幅は±0と、大部分の場合は九州全体の動向とは異なる動きとなっています。大分県経済の大きな課題認識として、全国を上回るペースで人口減少が進んでいるとの指摘がありました。人口減少に対する対

要素生産性」の引上げによつて労働生産性を上昇させる余地があり、工学的な技術革新に加え、新しいビジネスモデルやノウハウの導入による「業務の改善」に取り組むことが求められるということでした。具体的な戦略として、「ビジネス・プロセスの見直し」、「価格差別化戦略」、「非価格戦略」、「ポジショニング戦略」といった4つの戦略を挙げ、県内企業事例とともに各戦略の内容について紹介がありました。

「九州第2位の製造品出荷額」、「全国ブランドの魚介類・農産物」、「海洋交通の要衝」、「ダイバーシティ社会」といった大分県経済の強みを活かして、全国を上回るペースの人口減少問題に立ち向かっていくことに対し、期待を込めて、森支店長自らが大分県内を足で回るなかで思いついた新たな観光ルートのアイデアをいくつか披露していくだけだ。講演を締めくくられました。

A black and white group photograph of approximately 25 people, mostly men in suits, seated in two rows. They are gathered for a commemorative event at Doshisha University Graduate School of Economics. The photo is taken indoors against a plain wall.

第9回四極青雲会総会関連が以下の開催要領にのつとり開催された。

【総会】平成30年度総会議事（報告・お願い）事項として、1度予算（案）3、その他の報生およびお願い。

◆平成30年度活動報告

- ◆平成30年5月12日（土）第8回四極青雲会総会・記念講演会および懇親会を開催
- 記念講演 広瀬勝貞氏（大分県知事）「県政に思うこと」
- ◆平成30年8月29日（土）第15回四極青雲会定例会を「イノベーティブ経済セミナー」として大学と共同開催
- 講演 桑野和泉氏（由布院温泉観光協会会長）「由布院の観光まちづくり」
- ◆平成30年11月～平成31年1月にかけての課題研究のサポート
- 現役の院生と合同で受講／新規受講生の動員など

「労働生産性の向上」に関して、社会増減率と賃金水準には相関関係があり、大分県から大分県では医療・福祉、情報通信、サービス、卸・小売などへの転出超過が顕著であるというデータの紹介があり、大分県の賃金格差の要因の要因分析の結果、非製造業の労働生産性の地域間格差の要因分解に基づく大分県の特徴として、「資本の投入」や「労働の質向上」ではなく、「TFP（全要素生産性）」の引上げによるところを示されました。また労働生産性の地域間格差の要因え、新しいビジネスモデルやノウハウの導入による「業務の改善」を取り組むことが求められるということでした。具体的な戦略として、「ビジネス・プロセスの見直し」、「価格差別化戦略」、「非価格戦略」、「ポジショニング戦略」といった4つの戦略を挙げ、県内企業事例とともに各戦略の内容について紹介がありました。

「域内需要の拡大」では、「ラ

◆ 30年度に引き続き以下の活動をおこなう。

1. 総会／年1回（4～5月）
- 中)2. 定例会／年2回 3
会報発行／年1回（第
八号）4. その他、講
演会・シンポジウム・
小旅行・ゴルフ会など
要望にそつて企画す
る。
- ◆組織強化のため会員名
簿の整理と拡充（特に
外国籍の同窓生）に努
める。
- ◆財政の安定化にむけ
て、入会金・年会費の
納入者を増やす。
◆研究科と連携を強化す
る。（院入学希望者の
勧誘／各セミナーへの
参加と動員）
- ◆その他のご報告とお願
い
◆四極会のHPの刷新に
伴い組織活性化のため
の情報提供のお願い。



割愛)。
(32回生 事務局 岩尾明記

30年6月大分支店長として着任されました。

第9回 四極青雲会総会・記念講演および懇親会

言文の書道の點

令和元年度 四極青雲会活動報告

◆平成31年1月26日(土)

◆四極会活動に積極的に協力すること

1. 母校100周年記念事業（100周年記念募金・各

演題「日本經濟と大分県經濟」
講師..日本銀行大分支店長
森毅氏